

令和4年度 上田市立本原小学校 自己評価シート(関係者)

学校教育目標	めざす子ども像
なかよく たくましく かんがえて	○ 一人一人の子どもの理解を深め、つながりを大切にする学校
	○ 子どもが学ぶ喜びを感じ、安心・安全で、あたたかな学校
	○ 子ども一人一人の学びを保障し、考える力・伝える力の伸長を目指す学校
	本年度の重点目標
【令和4年度の基本理念】 「わくわくどきどき、学ぶ喜びを感じ、明日を楽しみに来る学校」	なかよく： ○明るい挨拶・返事の定着 ○人と「人・こと・もの」がつながる活動 ○個性を発揮し認め合う学級づくり ○安心できる人間関係づくり ○人権感覚を高める活動 ○やさしく話し、あたたかく聴く ○歌声の響き合う学級・学年 ○子どもと向き合う時間の確保「のびのびタイム」 ○児童会活動や地域との交流 ○原っ子育成地域かきうぐの実施 ○「原っ子応援団」との連携
	たくましく： ○心を磨く清掃「無言清掃」「見つけ清掃」「感謝清掃」 ○係活動など周りのために役に立つ活動の継続 ○ねばり強く取り組む意欲の育成 ○健康・安心・安全の意識育成と徹底 ○運動集会の充実 ○季節ごとの重点運動への取り組み ○体力テストの実施と結果分析 ○外遊びの奨励・充実 ○校庭での運動会や持久走大会
	かんがえて： ○日常的な授業の充実・学力向上 ○学ぶ楽しさ・学習意欲を喚起する授業づくり ○授業のユニバーサルデザイン化 ○本原小授業スタンダードの取組 ○「じっくり考える」「考えを文章や図にまとめる」「考えを伝える」「心を傾けて聞く」ことの日常化 ○繰り返しの学習による基礎基本の定着 ○SKM(すべての子どもの学び)の充実授業と習熟度の配慮 ○一人一台端末の活用

分野	重点活動	学校評価の中核的観点
教	なかよく	○子ども同士、子どもと教師が人権感覚を磨いているか。(あいさつ、あたたかなことば遣い等)
		○子どもが自己肯定感を高めているか。(自分が好き、自分に自信がある、自分でがんばる等)
		○いじめや不登校を解決に導き、楽しい学校づくりができたか。(いじめを見めく、長期欠席に真摯に対応する)
育	たくましく	○健康への意識を高める工夫ができたか。(保健体育・外遊び・運動集会の充実)
		○安心・安全な生活環境づくりの工夫ができたか。(保健指導、環境整備)
		○清掃や係活動など働くことに積極的に取り組めるよう働きかけているか。
動	かんがえて	○「かんがえるくん」(もつとかんがえるための掲示)の活用等、考えを深める授業を工夫しているか。
		○「つたえちゃん」(心をこめて伝えるための掲示)の活用等、対話したり思いや意図を話したりする授業を工夫しているか。
		○すべての子どもの力を更に伸ばすような授業実践をしているか。(ユニバーサルデザイン化、教室環境、教材準備等)

総合評価		
○制限のあるコロナ禍での活動がようやく少しずつもどってきたよううれしく思います。「子どもは地域の宝」であると、多くの人が学校を応援しようと思っています。信頼を寄せています。先生方の日々子どもに向かう教育への熱意が子どもの顔を明るくしています。 ○学校が楽しいと思っている子が多いことも何よりうれしいと感じます。子どもは大人の姿から多くを学び取ります。互いを助け合って笑顔で安心した学校づくりを今後もしっかりお願いします。 ○校長先生、教頭先生が中心となって、よりよい学校づくりに努力されたことがよく伝わってきています。学校の雰囲気やよい形で維持するには5・6年生の成長が欠かせません。校長先生の学校づくりをよく理解し、同じ方向もってを子どもに対応できるようになれば素晴らしい本原小になり続けることができると思います。 ○おおむねの子は学校生活に満足できているようで、よいと思う。 ○「昨日より大きい声であいさつできた」「今日もきもちよく過ごせた」というのも「がんばっている」のだと思う。子どもたちの「がんばっている」の意味が、視野が大きいものと思えるといいなと思う。みんなよいところがあるのに「あまり思わない」という子は、それに気づかないのだと思う。 ○令和4年度はコロナ禍ではありましたが、運動会、音楽会に伺うことができて、児童の姿を見ることができ、ありがたかったです。授業参観もできると学校・学級の様子が分かるかと思いましたが、感染状況でしかたがないと思います。 ○先生方がその都度の状況でしっかり子どもたちに対応してくださり感謝の気持ちでいっぱいです。一人一人の子どもが自己肯定感もてるように、気づきなどを認めてあげ、自信につなげてもらえるとうりがたいです。		
評価	成果と課題	改善策・向上策
A	○登下校の時の子どもたちの表情が明るく、上級生が下級生に優しい。学校へ行くのが楽しそうである(特に行事の前)。 ○あいさつについては大変よくできていると思います。学校全体が明るいのはとてもよいです。 ○一人一人を見るとそれぞれ対人面でいろいろあるようだが、それも成長と考え、傷つかない程度まで見守ってほしい。 ○明るい挨拶は見守りをしている際、相手に聞こえるようにしっかりといていいる。継続してほしい。 ●人権感覚の向上、教師も自らが向上することが大切だと思う。	・コロナの影響で厳しいとは思いますが、子どもたちが楽しみ/にしている行事は実現してほしい。多様な活動が一人一人を輝かせると思う。 ・保護者への連絡は必要と思う。
A	○運動会では生き生きとした子どもたちの様子が見られてよかったと思います。 ○持久走大会等、子どもたちも先生方もよく取り組んでおられます。 ○持久走大会や運動会前は張り切って体力作りをしていたように思う。コロナ禍で校庭も体育館も存分に使える状況であったらうか。 ○コロナ禍で外に出て体を動かして遊ぶこともままならないなか、学校で運動に取り組んでもらえることは身体作りに重要なことと思います。	・高学年になると休み時間も少し忙しそうだが、しっかりと体を動かして遊ぶ時間も確保されてほしい。 ・登下校は「歩いて」を大事にする。 ・体力づくりは日々の積み重ね。
A	○参観させていただいた授業はシンプルで分かりやすく、着地点が「はっきりしていた」。 ○学習課題の掲示物等、ある程度定着しているように感じられました。 ○登校できないときも端末を十分に使って、授業に参加できるのはありがたい。 ○学習面で戸惑う姿が見られる児童への対応などを丁寧に取り組んでもらえるとうりがたいです。	・授業の積み重ねも大切だが、子どもと先生との信頼関係が基盤にあってこそその学力向上。 ・楽しい学校はやはり授業の楽しさであると思う。 ・学習支援ボランティアさんをお願いして、個別に対応してもらえると良いのかなと思います。

評価		改善策・向上策
B	○あいさつに自信とほこりを持っている子が増えているように思う。 ○校長先生の大きな声のあいさつが、成果だと思います。 ●先生方からの助言も時として過大なプレッシャーになることもあるようです。	・あいさつ十一言はとてもよい取り組み。 ・先生にもありますが、あたたかな言葉遣いをこころがけたい。 ・あたたかな言葉遣いと激励とは人それぞれに感じ方がちがうので、その子のタイプをよく見てほしい。
	○自己肯定感のアンケートは、みんな「そう思う」(A評価)になればいいと思う。委員会活動などよくがんばっていると思いますが、子ども自身が認識していないようだ。 ○行事を通して、そのような姿を感じる。	・がんばっていると思わず自然にやっている姿になるのではないかな。大人が、
B		・学級経営、先生の人権感覚を常にブラッシュアップする。
B		
A		
B		
A		

学校運営	○様々な教育活動・体験活動を通し、豊かな心の育成	○「原っ子応援団（学習支援ボランティア）と連携し、地域に根ざした活動の場を設け、体験活動が充実しているか。
		○児童会活動、縦割り班等の交流を通して、積極的に体験活動できるよう工夫しているか。
学校運営	○子ども・保護者・地域との信頼関係を深める	○学校だより、学級・学年だより、安心・安全メール、ホームページにより情報を伝えているか。
		○連絡帳、電話などで保護者と連絡をとり、信頼関係を深めているか。
		○学校内外の相談体制の周知、受け入れ体制の整備を進めているか。

評価 A…達成できた B…おおむね達成できた C…やや達成できなかった D…達成できなかった

B	○学校のため、子どものために地域がとても協力的だと思う。 ○コロナの影響もあって満足いくところまではいきませんでしたが、方向性はよいと思います。 ○本原の子どもたちは体験が充実されていてよいと思います。 ○米づくり、豆づくりなど地域の方との体験活動も重要だと思います。 ●子どもに原っ子応援団の認識がないようである。	・更に学校と応援団のつながりをアピールしていくボランティアルームの活性化。 ・少しずつ元のように活発にできたらよいと思います。 ・そこでの活動を通して、児童の気づきなど先生方も地域の人と共有してもらえるとやる気につながるかと思います。 ・コロナ感染警戒レベルによっても対応が変わるのですが、ボランティアさんたちの存在をもっと大きく発信してほしい。
A	○児童会活動、たて割り活動など、とても大事だと思う。	・活動の積極的な発信、アピールをお願いしたい。
A	○ホームページには各学年の行事等も載せられていて、学校からの発信は大変よいと思います。 ○安心メールについて、まめに発信していただきありがたい。 ○お便りがカラーになると見やすい。週末の学年だよりは楽しみの一つとなっている。 ○今の時代に合わせた取り組みで、若い保護者にも伝わりやすいと思う。	・継続をお願いします。
A	○保護者アンケートではややC、D評価が多めではあるが、細やかな連絡はよくなされていると思う。 ○連絡帳では足りないところを電話で対応してもらっている。 ○孫の様子を見る限り、よくやってもらえていると感じています。	・継続をお願いします。
B	○特別支援教育の体制が学級の困り感のある子に柔軟に対応していると思う。 ●スクールカウンセラーや支援会議などで外部の力を借りての体制ができていると思うが、保護者には分かりづらい。	・「こんな方々にも相談しています」のような紹介をHP等で発信できるとよい。